

# 産学官で共同研究

## マスコンのひび割れ低減へ

福井宇部生コンら

福井宇部生コンクリート(福井市上森田 南谷哲彦代表取締役)と、グループ会社のユーコン(大野市富嶋 南谷義文代表取締役)は、ひび割れを抑える生コンクリートに係る福井大学らとの共同研究を財団法人福井県建設技術公社に申請、このほど今年度の産学官共同研究支援事業として承認された。同支援事業で生コンに

関するテーマの承認は初めて。発注機関である福井県もこの共同研究に関心を寄せており、外郭団体の同公社が全面的にコーディネートすることに

なった。昨年11月に福井県からリサイクル製品として認定を受けた同コンクリートは、北陸電力敦賀火力発電所から排出されるフライアッシュ(石炭灰)を高炉セメントに添加し

た上で特殊混和剤を併用して作られる。

福井大学および県雪対策・建設技術研究所との共同研究では、フライアッシュの有効利用によるマスコンクリートのひび割れ低減効果などを検証。高炉セメントにフライアッシュを用いたコンクリートと用いてないコンクリートを比較検討するほか、実地試験も行い多角的に考察する。将来的にマスコンクリート特有の水和熱上昇や乾燥収縮といった短所を抑えた製品の開発につなげていきたい考えだ。

問い合わせは福井宇部生コン(☎0776-156

1234)まで。